

※専門技術者は対象者を限定していますので、原則として、対象となる方に文書で、ご案内いたしております。なお、一般募集を行う研修があります。募集を行う研修についてはホームページ等で詳細を案内します。なお、研修日時や内容等は、変更または中止になる場合があります。詳しくは下記問合せ先へお問い合わせください。

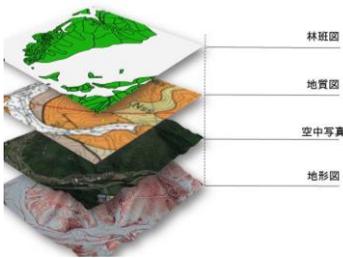
研修No.1	耐震セミナー「木造建築の許容応力度計算演習」	
内容	木造建築の許容応力度計算をひととおり、手計算で演習します。 ※「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)第5版」(日本住宅・木材技術センター)を御準備してください。	
開催日時	平成29年5月12日(金)、6月9日(金)、7月7日(金)、8月4日(金)、9月8日(金)、10月6日(金)、11月2日(木)、12月8日(金)、平成30年1月12日(金)、2月9日(木) ※各回 18時～21時	
定員	15名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	建築実務者(設計士、工務店、大工、地方公共団体など)	
申込締切	平成29年4月22日(金) ※締切過ぎても定員に欠員がある場合は受講できる可能性があります。 詳しくは小原(kohara@forest.ac.jp)までお問い合わせください。	研修の様子
研修No.2	これからの木造建築構造を考える	
内容	木造建築や木材の現状について情報共有し(話題提供:講義形式)、これからの木造建築構造のあり方について考えます(ディスカッション:座談会形式)。 2016年度 これからの木造建築構造を考える ※2016年度の例 ①『木造建築のBIMを利用した設計の現状と今後』大石佳知氏(アーキ・キューブ 代表取締役)、②『中大規模木造の構造設計～設計での取り組みを通じて～』伊藤啓富氏(i-木構 代表取締役)、③『伝統構法&曳家の設計と施工について』成瀬幸一氏((株)成瀬建築設計事務所 代表取締役)、④『熊本地震の震災調査速報から住育(木造建築構造関連、次世代の木造建築構造へ』小原勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー 准教授)、⑤『地域材(加子母ヒノキ)を利用した木造建築について』中島創造氏(株式会社中島工務店 東京支店)、⑥『欠陥住宅問題の事例』水谷大太郎氏(欠陥住宅被害東海ネット事務局長/織田浩二法律事務所 弁護士)、⑦『海外における建築構造での木材の使われ方～国際学会開催地より～』小原勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー 准教授)	
開催日時	平成29年5月27日、6月10日、7月8日 ※各回 土曜日の9時30分～12時30分、13時30分～16時30分	
定員	15名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	建築実務者(設計士、工務店、大工、地方公共団体など)	
申込締切	平成29年4月25日(月) ※締切過ぎても定員に欠員がある場合は受講できる可能性があります。 詳しくは小原(kohara@forest.ac.jp)までお問い合わせください。	研修の様子
研修No.3	木造建築の構造性能検討ツール演習	
内容	エクセルなどを利用して木造建築の構造性能検討を演習します。 ※エクセルの動くノートパソコンなどを御準備してください。 ※2016年度の例 ①SWS地盤調査データ処理ツール、②横架材断面算定ツール、③木造住宅 倒壊解析ソフトウェア、④限界体力計算ツール、⑤耐震診断(精密診断法2・保有水平耐力診断法)ツール、⑥外皮計算ツール(環境デザインサポートツール)、⑦耐震診断(一般診断法(清算法)・方法1・方法2)ツール、SWS地盤調査データ処理ツール【短縮版】	
開催日時	平成29年5月20日、6月3日、6月17日、7月1日、7月15日、9月16日 ※各回 土曜日の10時00分～17時00分	
定員	15名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	建築実務者(設計士、工務店、大工、地方公共団体など)	
申込締切	平成29年5月6日(金) ※締切過ぎても定員に欠員がある場合は受講できる可能性があります。 詳しくは小原(kohara@forest.ac.jp)までお問い合わせください。	研修の様子
研修No.4	パッシブデザイン設計法～木造建築温熱セミナー～	
内容	地域の良さを最大限活用するパッシブデザインの設計手法を学ぶ実践講座です。気象の分析方法や、暮らし方の把握、外皮計算(断熱、日射取得、防露、気密)、温熱環境やエネルギー消費量の実測などを10のステップで整理します。 復習のための宿題提出で、実務に活用できる設計ツールを提供します。	
開催日時	平成29年7月2日、8月6日、9月3日、10月8日、11月5日、12月3日 ※各回 日曜日の10時00分～16時30分	
定員	15名	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	建築実務者(設計士、工務店、大工、地方公共団体など)	
申込締切	定員を超えましたので募集を終了いたしました。ご了承ください。	研修の様子

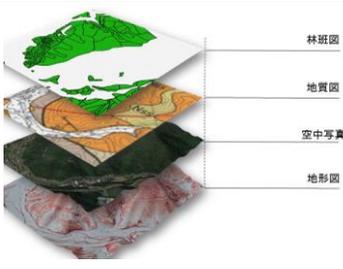
研修No.5	樹上作業のためのアーボリストトレーニング「BAT-1・BAT-2・BAT-3A」	
内容	日本で広く実施される特殊伐採と違い、海外のアーボリストが利用するツリークライミング技術を応用して、安全に樹上作業するための技術を習得する。クライミングのためのロープワーク、クライミング手法、セッティングの手法、樹上でのボディバランス、緊急対応の手法を学ぶ。	
開催日時	平成29年9月21日(木) 9時00分～24日(日) 18時30分	
定員	5名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	森林組合・林業事業者・造園の現場経験者またはベーシックツリークライマー取得者	
申込・問合せ先	きのぼり屋 TEL&FAX: 0587-74-0454 メール: mya@trees.jp	
申込締切	平成29年9月7日(金)	研修の様子

研修No.6	森林管理のための情報処理講座(基礎編)～エクセルを使って効率的な日報分析～	
内容	現場での作業日報はデータとして活用できているでしょうか？作業日報から現場での課題を見る化し、予実管理のための基礎情報を得ることが出来ます。エクセル操作を通して、作業日報の集計から見える化の手法を学び、事業者で必要な生産管理について検討します。	
開催日時	平成29年6月24日(土) 10時00分～15時00分(予定)	
定員	20名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	林業事業者の業務管理担当者、プランナー研修受講者、経理担当者など	
申込・問合せ先	森林文化アカデミー講師 杉本 和也 TEL: 0575-35-3871 メール: sugimoto@forest.ac.jp	
申込締切	平成29年6月10日(土)	研修の様子

研修No.7	森林管理のための情報処理講座(応用編)～マクロ等のエクセル上級操作を活用した日報管	
内容	日報データが大量に蓄積されると、通常のエクセル操作だけでは業務の手間が膨大にかかってしまうことはないでしょうか？そんな時にエクセルのマクロやAccessを使うとすっきり解消できる課題もあります。基本的なマクロやAccessの操作を紹介し、有効な日報の活用方法について考えます。	
開催日時	平成29年11月25日(土) 10時00分～14時00分(予定)	
定員	20名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	林業事業者の業務管理担当者、プランナー研修受講者など	
申込・問合せ先	森林文化アカデミー講師 杉本 和也 TEL: 0575-35-3871 メール: sugimoto@forest.ac.jp	
申込締切	※詳細が決まり次第、募集受付いたします。	研修の様子

研修No.8	林業×ITハッカソン@岐阜	
内容	林業に携わる人とIT技術者が集まり、これからの林業に必要なIT技術についてのアイデアを出し合います！そして出たアイデアを元にIT技術者たちがその場で開発を行います。2日間かけてアイデア出しから開発まで、まるでマラソンのごとく走り抜けます！初日のアイデア出しのみの参加でも大歓迎です。 ※ハッカソンに参加される方はノートパソコンなどを御準備してください。	
開催日時	平成29年9月2日(土) 10時00分～3日(日) 19時00分	
定員	20名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	IT技術者・有識者、林業事業者(法人、個人問わず)、林業の未来に興味がある人誰でも	
申込・問合せ先	森林文化アカデミー講師 杉本 和也 TEL: 0575-35-3871 メール: sugimoto@forest.ac.jp	
申込締切	※詳細が決まり次第、募集受付いたします。	研修の様子

研修No.9	森林管理のための情報処理講座(基礎編)～GISを活用した情報管理～	
内容	微地形図やLidar等の測量データなどの情報をGIS上で扱うことにより、業務管理の効率化だけでなく、正確な情報をもとに意思決定を行うことができる。GISは旧来高価なソフトウェアであったが、現在ではフリーのGISを利用して十分な地図の作成、データ分析が可能である。研修ではフリーソフトのQGISを基本操作の方法を学ぶ。	
開催日時	平成29年12月6日(水) 10時00分～16時00分	
定員	15名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	林業事業者の業務管理担当者、プランナー研修受講者など	
申込締切	※詳細が決まり次第、募集受付いたします。	

研修No.10	森林管理のための情報処理講座(応用編)～GIS活用実践事例～	
内容	ドローンによる空中写真測量や据え置き型のLidar測量など比較的安価で測量が可能な技術が発達し、林業でも測量に用いるケースが増えてきた。今回は、現在の測量技術がどこまで進んでいるか、また実際にデータを扱う際にどのような技術が必要なのか、GISを用いて実際にデータを扱うことで、森林管理への応用を検討する。	
開催日時	平成29年12月20日(水) 10時00分～16時00分	
定員	20名(抽選)	
開催場所	森林文化アカデミー内(美濃市)	
対象者	林業事業者の業務管理担当者、プランナー研修受講者など	
申込締切	※詳細が決まり次第、募集受付いたします。	GISイメージ

■ 申し込みについて

専門技術者研修は対象者を限定していますので、原則として、対象となる方に文書で、ご案内いたしております。

お申し込みを受けとった連絡は、お知らせいたしておりませんので何卒ご了承ください。

なお、一般の方でも定員に満たない場合で、研修主任の承諾がある場合は、受講できることがあります(基本的な専門用語を知っている方、専門知識を有している方に限ります)。

申込みの受付については、開催日の一ヶ月くらい前に、下記連絡先へご確認ください。

■お問合せ窓口

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88 岐阜県立森林文化アカデミー

TEL:0575-35-2535 FAX:0575-35-2529

メールでのお問い合わせはこちらから → info@forest.ac.jp